

新教育課程により地学履修者は増える(埼玉県内の高校におけるアンケート調査) The students who study Earth Science will be increased by a new curriculum (Questionnaire survey in Saitama pref.)

小幡 喜一^{1*}

OBATA, kiichi^{1*}

¹ 熊谷高校・埼玉県高校理化研地学研究委員会

¹ Kumagaya Senior High School

理数教育の充実などを謳った新高等学校学習指導要領(2009年3月告示)は完全実施の平成25年度入学生に先駆け、特例(2009年3月告示)として、理数に属する科目のみが先行実施される。

現行学習指導要領(1999年3月告示)における理科の必修科目は、総合科目の「理科基礎」(2単位)、「理科総合A」(2単位)、「理科総合B」を少なくとも1科目含み、それらと「物理」(3単位)、「化学」(3単位)、「生物」(3単位)、「地学」(3単位)から2科目であった。高校での地学の教科書需要数は全高校生徒数に対し3.1%であり(田村, 2008), 3年間での履修率が10%を切る状態になっていた。

新学習指導要領(2009年3月告示)での理科の必修科目が「科学と人間生活」を含み後のうち1科目を加えた2科目、または「物理基礎」(2単位)、「化学基礎」(2単位)、「生物基礎」(2単位)、「地学基礎」(2単位)から3科目となった。

埼玉県高等学校理化研究会 地学研究委員会では、県内の地学担当教員に対して、各校で理科の新教育課程は基礎を付した4科目の全員履修を目指すための参考資料を作成し2010年9月に配布した。そして、各校で決定された2012年度、および検討中であろう2013年度入学生の新しい教育課程について、2011年11月にアンケート調査を行った。

アンケート対象と回収率

アンケートは埼玉県高等学校理化研究会に属する学校に対して行い、回収数/対象校数(回収率)は、県立高校全日制普通科70校/107校(65%)、実業科(農業科・工業・商業科・家庭科)27校/38校(71%)、専門学科(理数科・外国語学科・芸術科・体育科・調理学科)・総合科14/28(50%)、定時制18校/28校(64%)、私立高校全日制普通科11校/48校(23%)、実業科2校/5校(40%)、専門学科2校/3校(67%)、合計144校/257校(56%)であった。

2012年度入学生の理科の授業時数

2012年度入学生の理科の授業時数は、複数の学科をもつ学校があるため学科数で集計した。2011年度に比べ、全体139学科のうち、現状維持92学科66%、増加36学科26%、減少11学科8%であった。現状維持は定時制15学科100%、専門学科・総合科16学科中14学科88%で多く、増加は全日制普通科28学科34%、実業科7学科26%で多かった。

新学習指導要領では、理数科の履修時間増が謳われた訳だが、理科・数学だけが先行実施であったために、他の教科との関係で融通が利かず、現状維持になった学校が多かった。

新学習指導要領が全面実施になる2013年度入学生の理科の授業時数

2013年度入学生の教育課程は検討中が67学科48%である。決定した72学科での理科の授業時数は2011年度に比べ、現状維持44学科61%、増加22学科31%、減少6学科8%であった。

検討中の学科が半数近いが、決定した学科のうち理科の授業時数が増えたのが31%となり、2012年度よりもさらに増加の傾向が見られる。

2012年度入学生の教育課程における「地学基礎」の設定

この項目に答えた全139校中で、「地学基礎」を設定が85校61%(地学専攻教員の勤務校59校42%、勤務していない学校26校19%)設定しないが54校39%(地学専攻教員勤務校2校2%、非勤務校52校37%)であった。全日制普通科81校中では、設定が62校77%(地学専攻教員勤務校46校57%、非勤務校16校20%)設定しないが19校23%(地学専攻教員勤務校1校1%、非勤務校18校22%)であった。

2012年度入学生の理科の教育課程はどのようなようになったか

2012年度入学生の全日制普通科(公立高校71校・私立高校22校, 147コース)、実業科(公立高校18校・私立高校2校, 25コース)専門学科・総合科(公立高校14校・私立高校1校, 17コース)、定時制(公立高校15校, 16学科)の資料の資料を必修・選択にかかわらず、設定学年のパーセンテージを求めた。

「科学と人間生活」: 1年20%, 2年1%, 3年5%, 4年0%, 無し74%。

「化学基礎」: 1年48%, 2年39%, 3年4%, 4年0%, 無し8%。

「物理基礎」: 1年25%, 2年42%, 3年14%, 4年4%, 無し28%。

「生物基礎」: 1年48%, 2年35%, 3年8%, 4年2%, 無し8%。

「地学基礎」: 1年13%, 2年18%, 3年14%, 4年0%, 無し55%。

新学習要領の実施により、高校で「地学」の履修率増加が見込まれる。2012年度入学生教育課程には、化学基礎生物基礎が92%、物理基礎が84%、地学基礎は45%設定された。この数には選択履修も含んでいるので、実際の履修率は、

Japan Geoscience Union Meeting 2012

(May 20-25 2012 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2012. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



G04-P03

会場:コンベンションホール

時間:5月20日 10:45-12:15

この7割~9割であろうか。

キーワード: 高等学校学習指導要領, 2012年度入学生, 地学基礎, 履修科目, 埼玉県

Keywords: Curriculum, Entrant in 2012, Basic Earth Science, Study subject, Saitama Pref.